



法人教職員・学生は
久留米市美術館に
無料で入館
できます。

学校法人久留米工業大学は 久留米市美術館の キャンパスパートナー校です

キャンパスパートナーとは

石橋文化センターと久留米市美術館をより身近に感じるための制度です。
本法人の教職員及び学生は、久留米市美術館及び石橋正二郎記念館に無料で入館できます。
本法人の建学の精神である「人間味豊かな産業人の育成」を体現すべく、学生・生徒のみならず
教職員においても身近にある美術品に触れる機会を設けることで、感性豊かな法人の教職員とし
て学生・生徒のサポートが出来るよう令和6年度から開始しました。

対象施設

久留米市美術館主催の展覧会
石橋正二郎記念館

受付

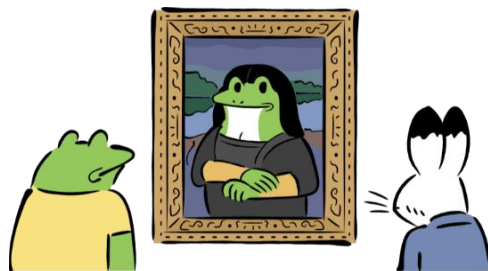
受付にて裏面記載の身分証等を
提示。本人のみ入館無料

対象者

本法人の教職員
大学・専自校の学生
※高校生は無料

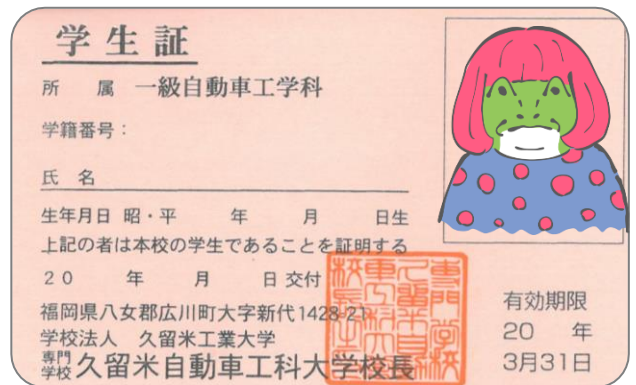
利用期間

R6年4月2日～R7年3月31日
※休館日を除く

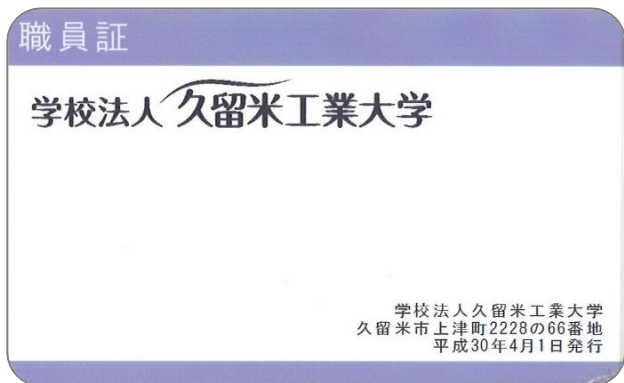




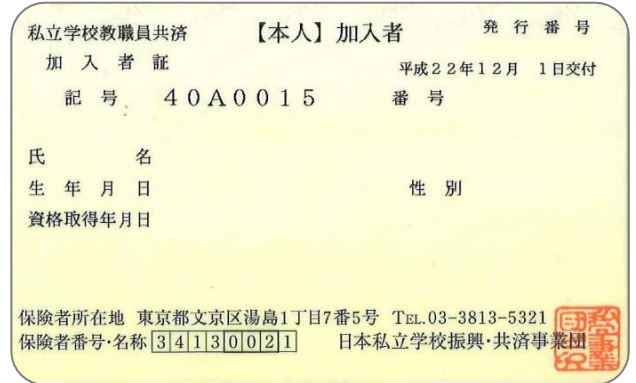
【大学 学生証】



【専自校 学生証】



【本部、大学、高校、専自校 職員証】



【大学教員、久自校教職員 加入者証】

2024年度 久留米市美術館主催展覧会 (下記の展覧会も無料で入館できます。)

美術館本館2階	<p>ちくごist 尾花成春</p> <p>4月20日(土)~7月7日(日) 一般700円 大学生400円</p> <p>前衛美術団体「九州派」での活躍でも知られる画家・尾花成春。「筑後川シリーズ」など地域での制作にこだわり続けた尾花の90年の生涯と画業を紹介。</p>
	<p>藍のものがたり</p> <p>7月20日(土)~10月14日(月・祝) 一般1,000円 大学生500円</p> <p>日本人の暮らしに息づいてきた「藍」の広がりを、久留米紺をはじめ今日の作家やデザイナーによる挑戦まで、その多彩な魅力とともに紹介。</p>
	<p>日本が見たドニ ドニの見た日本</p> <p>11月2日(土)~2025年1月13日(月・祝) 一般1,200円 大学生600円</p> <p>フランス人画家モリス・ドニ(1870-1943)の生涯を軸に、日本美術への憧れ、パリで出会った日本人留学生、戦前に来日したドニ作品などから両者の関係を辿る。</p>
	<p>響きあう絵画</p> <p>2025年2月8日(土)~5月11日(日) 一般1,000円 大学生500円</p> <p>宮城県美術館の代表的な絵画コレクションが丸ごと久留米へ。松本竣介や海老原喜之助、カンディンスキーなど必見のラインナップ。</p>



松枝玉記(花菖蒲)1974年 久留米紺技術保存会



モリス・ドニ(若い母)1919年 国立西洋美術館

※都合により、会期などが変更となる場合がありますので、予めご了承ください。詳細は、久留米市美術館公式ホームページにて随時お知らせします。



開館時間/10:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日/月曜日(祝日・振替休日は開館)

年末年始(12/28~1/3)、展示替休館
※但し、12/28、1/3は特別開館

公益財団法人 久留米文化振興会
〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015
TEL 0942-39-1131 FAX 0942-39-3134
<https://www.ishibashi-bunka.jp/kcam/>

